

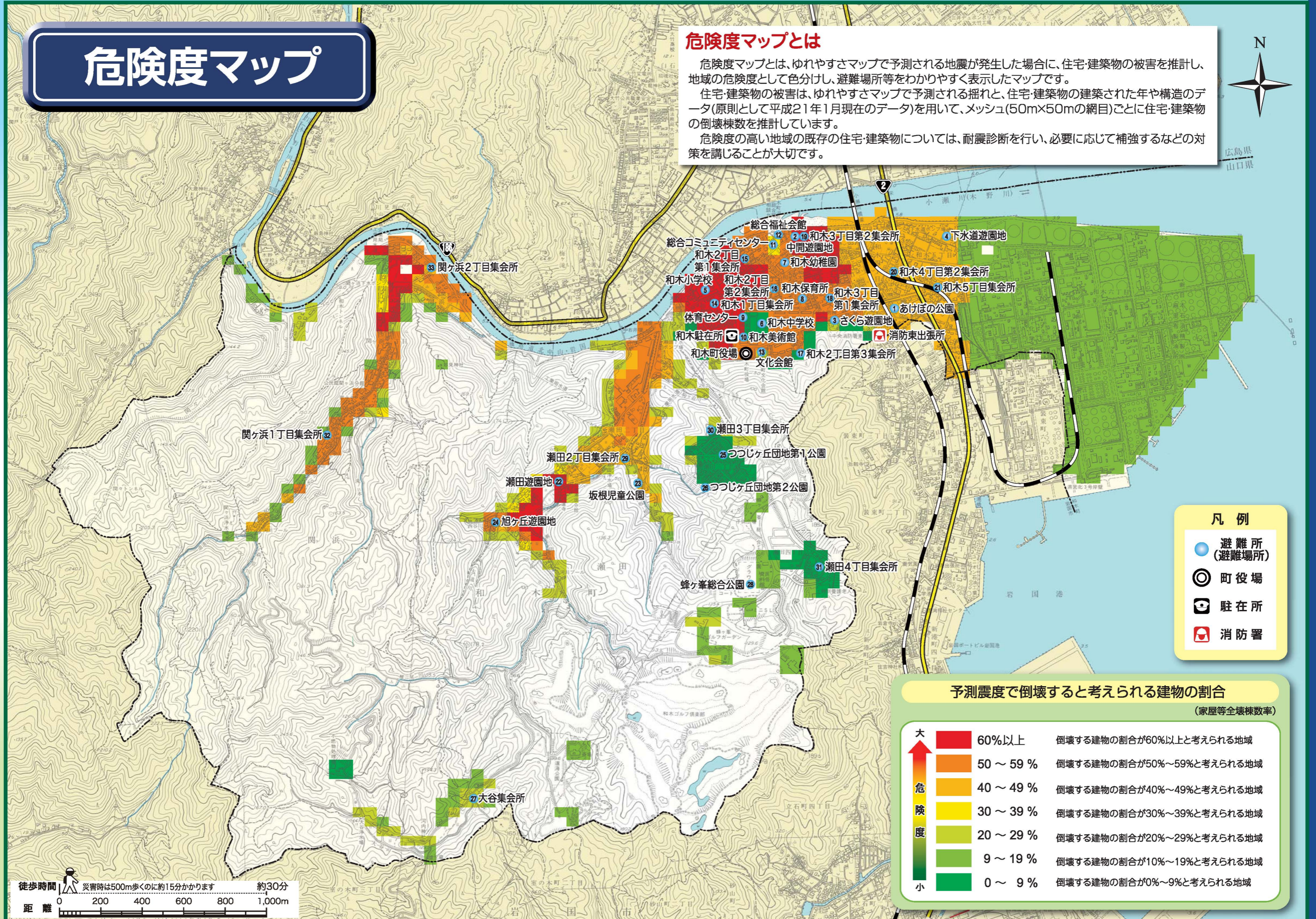
危険度マップ

危険度マップとは

危険度マップとは、ゆれやすさマップで予測される地震が発生した場合に、住宅・建築物の被害を推計し、地域の危険度として色分けし、避難場所等をわかりやすく表示したマップです。
 住宅・建築物の被害は、ゆれやすさマップで予測される揺れと、住宅・建築物の建築された年や構造のデータ(原則として平成21年1月現在のデータ)を用いて、メッシュ(50m×50mの網目)ごとに住宅・建築物の倒壊棟数を推計しています。
 危険度の高い地域の既存の住宅・建築物については、耐震診断を行い、必要に応じて補強するなどの対策を講じることが大切です。



広島県
山口県



凡例

- 避難所 (避難場所)
- 町役場
- 駐在所
- 消防署

予測震度で倒壊すると考えられる建物の割合

(家屋等全壊棟数率)

大		60%以上	倒壊する建物の割合が60%以上と考えられる地域
↑		50～59%	倒壊する建物の割合が50%～59%と考えられる地域
		40～49%	倒壊する建物の割合が40%～49%と考えられる地域
		30～39%	倒壊する建物の割合が30%～39%と考えられる地域
		20～29%	倒壊する建物の割合が20%～29%と考えられる地域
危険度		9～19%	倒壊する建物の割合が10%～19%と考えられる地域
小		0～9%	倒壊する建物の割合が0%～9%と考えられる地域

徒歩時間 災害時は500m歩くのに約15分かかります 約30分
 距離 0 200 400 600 800 1,000m